



TITLE:

京大広報 No. 63

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 63. 京大広報 1971, 63: 239-240

ISSUE DATE:

1971-11-19

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209632>

RIGHT:

京大広報

No. 63

京都大学広報委員会

国立大学の定員確保について

このたび国立大学協会長より、国立大学の定員確保について、文部省事務次官ほか文部省関係官あて下記要望書を提出した旨報告があったのでここに掲載する。

昭和46年10月30日

国立大学協会

会長 加藤 一郎

国立大学の定員確保について（要望）

国立大学の定員確保に関してはかねてより種々ご高配を願っておりますが、当面の各大学の実情にかんがみ別紙のとおり要望いたしますので、右要望の実現方につき何分のご配慮をお願いいたします。

（別紙）

昭和46年10月30日

国立大学協会

会長 加藤 一郎

国立大学の定員確保に関する要望書

現在いわゆる第二次定員削減の実施が問題となっているが、国立大学の研究教育に必要な職員の確保は、大学にとって緊要の課題となっているので、次の点につき特段の配慮をされるよう、強く要望する。

1. 第二次削減の実施にあたっては、国立大学の研究教育に必要な職員の確保（新規採用、必要な欠員の補充）に支障を来たさないよう、弾力的な運用をはかられたい。
2. 国立大学においては、大学院要員、図書館要員、研究機器保持要員等、当初から職員の不足

しているものが少なくないばかりでなく、近時の学術の発展に伴いその不足は一段と緊迫化しているため、必要な職員の増員をぜひともはかられたい。

3. 教官の定員問題の取り扱いについては、予め当協会の意見を十分に聴取されたい。

月曜会メモ

第96回（11. 1）

司会 木原正雄会員

会員の交替

10月10日付け：基礎物理学研究所 王垣良三会員より位田正邦教授へ

報告事項

- (i) 化学研究所より、所長選考規程の改正が検討されている旨の報告があった。
- (ii) 理学部より、10月の協議会において、各教室への予算配分方式が改正され、定員数により一率に比例配分されることになった旨の報告があった。

議題：研究と教育の関係について

討議のための問題提起として、川村俊蔵会員より、大検委第1部会では、研究と教育の関係の問題については、両者は不即不離の関係にあるという前提のもとに、両者がともに成果をあげるためには、「部」制をとることが好ましいとの意見が多い旨の説明があり、質疑・討論に入る。

研究と教育のあり方に関連し、それぞれの部局の実情にてらして、講座制度の是非、附置研究所のあり方などについて、種々の意見がだされた。また、「部」制のばあい、研究と教育をすすめるうえでも、大学の自治の点で、重要な人事の問題を処理するうえでも、支障をきたさないか、などの

意見もだされた。このほか、現状が、研究と教育とが両立しえないような悪条件のもとにあることから、ただちに両者を分離すべきだとの結論をだすのは問題であるとの意見がだされ、また、大学院のあり方、学部との関係などについても種々意

見がだされた。

今回の議題は、重要で、まだ討議すべき問題もあるため、次回さらに討議を続けることになった。
(木原正雄会員)